



第11号
発行・編集 広報委員会
〒520-1821 マキノ町沢1410
TEL 27-1132
平成31年2月吉日

『ごあいさつ』



高島市老人クラブ連合会
会長 鈴木 庄十朗

平成30年度の役員改選により、不肖私に「高島市老人クラブ連合会長」の役職を命ぜられました。このことは、82歳の私にとりましては、大変名誉なことでもありますが、一方その職責を全う出来るか不安に駆られておられるところでもあります。しかし、お引き受けしました以上は、今日まで地域社会から受けたご恩に報いるためにも、一生懸命老人クラブ発展のために尽力することとが、私に課せられた責務であると考えておりますので、今後とも格別のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨今の老人クラブ活動を振り返る状況は、極めて厳しいものがあり、特に会員数の減少に歯止めがかけられず、長年にわたり伝統的に維持されてきた「老人クラ

ブ連合会」という組織の存続が危ぶまれると云う、大変憂慮すべき状況に陥っております。

そんな中、会員数の減少するこの流れを変えるこそが、私に課せられた使命であると感じているところでございます。

4月に就任させて頂いた後、早速、皆様のご協力を得まして、事務レベルによります「活性化検討委員会」を立上げ、本年度は取り敢えず、過日、県内の先進地である「野洲市老人クラブ連合会」の対策を視察させて頂き、色々とご教授頂きました。

しかしながら、この現象を止められる地域にあった打開策は、単年度で到底見出すことは出来ませんので、引き続き会員の皆さんのさらなるお知恵とお力添えを賜りますことを、偏にお願い申し上げます。私は、今後もその先頭に立って微力ではありますが、頑張つて参りたいと存じます。

最後に、会員皆様のご健康とご活躍、そして変わらぬ深いご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。私からのご挨拶と致します。



平成三十年 度

高島市老人クラブ連合会

【役員・評議員名簿】

- | | |
|---------|----------------------|
| 会 長 | 鈴木 庄十朗 (安曇川支部長) |
| 副会長 | 市川 清 (今津支部長) |
| 副会長女性部長 | 吉田 ちよ子 (朽木支部会員) |
| 理 事 | 前川 和敏 (今津副支部長) |
| | 松村 良雄 (朽木支部長) |
| | 吉田 信之 (朽木副支部長) |
| | 藤井 川枝 (朽木副支部長兼女性代表) |
| | 横井 藤夫 (安曇川副支部長) |
| | 水島 佳子 (安曇川副支部長兼女性代表) |
| | 北坂 修 (高島支部長) |
| | 西川 安弘 (高島副支部長) |
| | 青谷 重興 (マキノ支部代表) |
| | 伊吹 源司 (マキノ支部代表) |
| | 中川 ヒデ子 (マキノ支部女性代表) |
| 評議員 | 赤崎 太一郎 (マキノ町創造推進員) |
| | 前川 弥嗣 (今津町創造推進員) |
| | 澤田 龍治 (朽木創造推進員) |
| | 添田 暁子 (安曇川町創造推進員) |
| | 万本 春彦 (高島創造推進員) |
| 事務局 | 吉原 康和 (高島市創造推進員) |

市内の高齢者の皆さま!

「老人クラブ」へのご入会を、心よりお待ちしております!
お気軽に声をかけ下さい!
老人クラブへの入会は、六十歳以上の方なら何時でもどなたでもご入会頂けます。
身近な場所で「新しい出会い」を求めてみようではありませんか!

- 地域の同世代の皆さんと、地域に役立つことをしてみませんか!
- 老人クラブは、高齢者が自ら活力を持って、活躍できる地域の集団です。
- 仲間と一緒に活動し、毎日を生き生きと、心身ともに健康で暮らして行くようではありませんか!
- 老人クラブでは、「健康づくり」「友愛奉仕」「ふれあい・交流」等、その他さまざま活動を実施しています。

各事務局連絡先

- マキノ支部 ☎(27)1132 FAX(27)1129
- 今津支部 ☎(22)5200 FAX(22)9056
- 安曇川支部 ☎(32)1944 FAX(32)1944
- 高島支部 ☎(36)8185 FAX(36)8186
- 朽木支部 ☎(38)2630 FAX(38)2951

主な年間行事等

- 高島市老人クラブ連合会 理事会 5月
- 高島市老人クラブ連合会 総会・研修会 6月
- 高島市老人クラブ連合会 グラウンドゴルフ大会 9月
- 第1ブロック グラウンドゴルフ大会 10月
大津市、高島市で輪番に担当
- 滋賀県老人クラブ大会 11月
場所・滋賀県文化産業交流会館
- 女性リーダー研修会 11月
- 高島市長との懇談会 1月
- 高齢者相互支援活動研修会 2月
場所・長寿社会福祉センター

表彰・研修

●去る平成30年11月21日(水) 県立文化産業交流会館で開催された県老人クラブ連合会主催の平成30年度県老人クラブ大会で知事表彰と会長表彰を受賞された、個人・団体は次のとおりです。

- 滋賀県知事表彰
 - 優良老人クラブ
「老人クラブ淡海の郷づくり推進事業」
蛭口老人クラブ 「豊友会」
 - 滋賀県老人クラブ連合会会長表彰
 - 老人クラブ育成成功労者
安曇川支部 横井藤夫さん



●去る平成31年1月15日(火) 役員等が野洲市老人クラブ連合会に赴き、減少する会員の対策について、視察研修を実施しました。

マキノ支部

老人クラブの輪を広げよう

昨年は例年になく厳しい暑さが続きましたが、皆さんお元気でお過ごしですか。私はこの春で役員を退任致しました。振り返りますと、65歳になるのを待って入会して以来十八年、今日まで牧野老人クラブは居心地がよく、のちにはマキノ支部老ク連【当時はマキノ町老ク連】にも関わって楽しく過ごすことが出来ました。

私は酒も飲まず、カラオケもダメ、球技もダメな面白味のない人間ですが、パソコンを扱うことができたためいつしか牧野老人クラブの運営を手伝うようになり、会長などを勤めることになりました。

初めての会長として町の総会に参加した頃は、町内全集楽に単位老人クラブがあり、会場は熱気に溢れていました。

あの頃の会長は地区に対しても意見を反映させたりして老人パワーを町内の中にも認識させていたと思います。しかし、脱退する老人クラブが増えるにつれ、こういう意識もなくなってきたのは残念です。

毎年6月、マキノ町民生委員児童委員協議会が主催して『元気な高齢者の集い』が開催されます。参加資格は自力で参加できる80歳以上と言うことで私も昨年から参加しています。驚いたことに町内全域から百数十人の参加があり、町老人会で知り合っ

た方も沢山おられ、当時を懐かしむ声も聞きました。年老いた身にはこのような出合いも必要です。

かつて、スポーツ大会、旅行など当時一緒に楽しんだ事が懐かしいです。

現在、脱退されている老人クラブも各地区内で独自に活動されていると聞いています。その方々も一緒になって、一つの集落にとどまらず、広く出合いの輪を広げて、マキノ支部老人クラブが昔日の勢いを取り戻すことを希望します。

今津支部

第二成人式・音楽教室

一人暮らし、高齢者のみ世帯が増加して閉じこもりや認知症の発症など高齢者を取り巻く環境は、ますます厳しくなってきました。健康寿命を延ばし、地域づくりの一翼を担えるよう、会員相互の交流を広め、生きがいのある人生を送りたいと考えます。このため、老人クラブでは会員拡大など様々な活動を展開していくことが大切だと思います。

今津支部では、交流や親睦を図るため、グラウンドゴルフ大会、友愛訪問活動、音楽教室など会員の参加を促す事業を実施しています。支部の目玉事業は第二成人式と音楽教室です。平成30年度は共同募金助成金をいただき、両事業を同時に開催しました。

その事業の内容について、紹介させていただきます。

第二成人式

年度内に満80歳を迎える会員を対象とし、音楽教室の開催前にセレモニィを行い、祝の品贈呈と記念写真を撮り、音楽教室の参加者と共に健康長寿を願う。

音楽教室

各方面で活躍しておられる大津市在住（今津町出身）の音楽療法士と津軽三味線奏者の先生を招き、キーボードと三味線の演奏にあわせて懐かしい歌、季節の歌などを講師の指導で歌ったり、演奏を聴くなどで一時間あまりの時間を過ごします。声を出し、耳を使うことは介護予防に繋がると思っています。



安曇川支部

単位老人クラブの現状

単位老人クラブ延命会の役割は現役生活を終えられた人々が地元との繋がりを大切に助け合いながら楽しく集う憩いの場所と考える。

65歳から加入出来る延命会に最近は加入者が少なく、逆に高齢で退会される方が多く会員数が減少する傾向にある。平均寿命

が伸びそれに伴い職場の定年が、延長される働く場所が確保された。

元気で働けることは良い事であるが、その為加入者が減るのは残念である。現実的には人により余裕の時間も生まれており、可能であれば入会をお願いしたいと思う。又、入会しても知らない人ばかりで話し相手がいない、入会するとすぐに班長が回ってくる、まだ働いているし役を持つことが出来ない等である。これらに付いては考える余地がある。

又、退会の理由として高齢になり例会に参加するのが重荷である、話し相手がいなくなった等である。動く事は健康の為に良く、多くの人と話し合う機会が持てることも良く、延命会の良さが実感出来ると思う。

現在忙しくて参加出来なくても皆さんで入会して盛り上げて頂きたい。先日この様なことが発生した。GG大会開催予定の日

に例会を設定してしまっただ。どちらも愛好者にとつては大切な日である。日程の調整もうまく行かず、参加者が割れる事を覚悟の上で実施した結果相手方の行為で沢山の出席者を見る事が出来た。



朽木支部

住民福祉活動フォーラム開催

昨年の9月の台風21号では、あまり経験したことのないような強い風が吹き、朽木内でも屋根が飛んだ家があったり、たくさんの倒木により停電が続きました。

また、昨年は全国的に災害が多く、大きな被害を受けた地域も多数ありました。平成25年の台風18号を体験した住民は、どこかで「あの時より大丈夫」という正常性バイアスがあり、そこから抜け出すことが大きな課題であると考えます。災害時に動くためには、普段の見守りや近所のつながりがとても重要となつてきます。

台風の場合は、事前に行動することができず。災害、その時どうすればよいのか？、をテーマに第7回朽木住民福祉フォーラム（老人クラブ朽木支部共催）を開催しました。朽木診療所の増田先生から「災害と医療」について、大津市民児協連会長津田洋子さんの講演「見守り・気づきからつながる社会に」があり、安全安心な村づくりを目指すたくさんの地域の人が参加しました。



高島支部

高島支部の事業進捗を顧みて

平成30年度も、残すところ少なくなりましたが、これまでの事業等に関し反省部分も含め顧みますと、健康づくり、認知症の軽減、会員相互の親睦を念頭に各事業をすすめてまいりました。列記しますと、

◎グラウンドゴルフ大会

- 1回目 7月17日（火） 30名参加 伊黒グラウンド
- 2回目 10月2日（火） 29名参加 伊黒グラウンド
- 3回目 11月28日（水） 24名参加 伊黒グラウンド

◎親睦旅行（兼歩け歩け運動）

京都鉄道博物館見学 5月28日（月） 40名参加

後、会員相互の親睦を兼ね食事会

他にペタンク大会を計画、準備していましたが、天候不順によるグラウンド不良でやむなく中止、また親睦旅行（歩け歩け運動）を春、秋の二回を計画していましたが、秋においては、各単位クラブの親睦旅行、自治会の文化祭参画等に重なり参加人数の確保が困難と考え残念ながら春のみの実施となつてしまいました。それに代えてグラウンドゴルフ大会を一回多く秋に実施させて頂きました。

今後、単位クラブの減少、若手会員の減

少、会員の高齢化等、老人クラブの継続、運営に大変な苦難が訪れると予想される中、単位クラブの減少、会員の減少をいかに食い止め、同時に新規会員、若手会員加入促進が最大の課題となるだろう。



高島支部としまして、各会員の絶大なるご協力、ご理解を得つつ小規模ながら維持発展を語っていききたい。

編集後記

社会情勢の変化や著しい少子高齢化の進展で、人口構造・生活スタイル等が大きく変化し、高齢者は自身で、若者に頼らない老後の生き方、過ごし方を考えなければならぬという意識の変化が必要になってきました。

こうした社会情勢の中、元気に生き抜くには、地域でのお互いの助け合いや支え合い、そして仲間づくりが大変重要な事でありませぬ。

もうすぐ平成という時代に幕が閉じます。新しい時代になつても、地方での生活には、仲間づくりが必要で、是非とも「老人クラブ」にご入会頂き、残された人生、共に楽しく暮らして行く道ではありませんか！そして、新しい時代共に生きようではありませんか！

市内高齢者の皆さまの、ご入会を心よりお待ちしております。

事務局